

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 12 日

評価対象事業		評価者	障害者福祉課長 田中 良一		
健福-32	実施事業	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	障害者福祉課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	発達支援室
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	知的障害者、障害児等
意図	・知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため、障害児等に余暇活動の場を提供することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	・知的障害者の社会性の向上を図る。 ・障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉はまなみの効率かつ効果的の運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。</li> <li>・障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	177,243人	176,869人	176,869人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数			
	運営資源状況	決算値(千円)	31,561	32,408	32,408	当初予算(千円)	54,892	
		国県支出金				国県支出金		
地方債					地方債	19,000		
その他					その他			
一般財源		31,561	32,408	32,408	一般財源	35,892		
事業経費	人員配置数	0.4	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,261	3,941	3,941	人件費(千円)	4,087		
	総事業費(千円)	34,822	36,349	36,349	総事業費(千円)	58,979		
事業経費	市民1人当りの経費(円)	196	206	206	市民1人当りの経費(円)	334		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	知的障害者の社会性の向上のために、日常生活上の支援及び生活能力向上や就労のために必要な支援や訓練に関する業務の支援を、引き続き実施する必要がある。施設の経年による老朽化で、要修繕箇所が発生しており維持修繕の対応が必要である。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	知的障害者の社会性の向上を図るため、指定管理者に委託し事業の効率及び効果的な運営を図り、円滑に実施できた。施設の老朽化による施設設備の維持管理を適切に行っていく。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法による法内事業での円滑な業務運営が実施されるように、指定管理者による適切な障害者自立施設事業の運営が図られるよう支援を行っていく。</li> <li>・施設や設備の経年劣化により、修繕費用がかさんでくる。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法内事業での円滑な事業運営がなされるよう、運営面での相談、財政支援を行った。</li> <li>・施設内の送水管やポンプ修繕を実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備の経年劣化により、外壁や屋上など大規模な修繕が早期に必要である。</li> <li>・指定管理者による施設運営について、民間運営も含めた本施設のあり方が課題となっていることから、指定管理から民間運営の実施に向けた課題の整理を行い、方向性を明らかにしていく。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	運営方法の検討	単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
指定管理者制度も含めた施設運営方法の検討を要するため	目標値	実施	選定	実施	運営検討	運営検討	運営検討
	実績値	実施	選定	実施			
	達成率						
指標の内容	鎌倉はまなみ施設利用状況の推移	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
施設利用者数の状況を把握するため(実績値のみ)	目標値				-	-	-
	実績値	13,584	13,365	13,315	-	-	-
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉はまなみは、生活介護事業「鎌倉わかみや(定員30人)」、多機能事業「鎌倉はまなみ(定員25人)」がある。年度間での活動日数の関係で、利用者の増減はあるものの、年間を通してほぼ100%近い利用が続いている。						